

# 行政事業レビューシート サブシート

事業番号 当初 3 - 2

<b>予算事業名</b>	適正な取調べのためのシステムの構築			<b>事業開始年度</b>	平成21年度	<b>作成責任者</b>		
<b>担当部局</b>	警察庁			<b>担当課室</b>	刑事企画課	刑事企画課長 室城信之		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>上位事業</b>	刑事警察			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>				<b>関係する計画、通知等</b>				
<b>事業概要 (5行程度以内)</b>	<p>昨今、取調べを始めとする警察捜査に対する国民の信頼が大きく揺らぐ事態が生じたことや、裁判員制度が導入され、警察捜査の結果が国民の視点から直接検証されることとなった情勢等を踏まえ、取調べの在り方についても、一層の適正性の確保が求められることから、捜査幹部等において取調べ状況を的確かつ効率的に把握する必要がある。そこで、取調べの都度作成される取調べ状況報告書等の記載内容や取調べ官の取調べ室への入室時間などを自動的に把握し、電子的に管理するシステムを構築するためのモデル事業を実施する。</p>							
<b>実施状況</b>	<p>1県警察の2署を対象としてシステムを整備した。 平成22年度中に試験運用を行い、検証結果を取りまとめる予定である。</p>							
<b>予算の状況 (単位:百万円)</b>		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求		
	予算額(補正後)	-	-	28	-	-		
	執行額	-	-	2	/	/		
	執行率	-	-	7%	/	/		
	総事業費(執行ベース)	-	-	2	/	/		
<b>自己点検 (使途の把握水準や見直しの余地等)</b>	<p>本事業は、警察庁において契約しているため、支出先については把握している。 なお、モデル事業実施に必要な資機材の整備は平成21年度で終了した。</p>							
<b>資金の流れ / 費目・使途</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">警察庁 2百万円</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">【一般競争入札】 A. 東日本電信電話株式会社 2百万円</div>				A. 東日本電信電話株式会社			
	(取調べ管理システムを1県警察に整備。)	↓	(取調べ管理システムを納入。)	費目	使途	金額 (百万円)		
				物品購入費	取調べ管理システム	2		
				計		2		

# 適正な取調べを担保するためのシステムの構築について

警察捜査における取調べ適正化指針（平成20年1月 警察庁）

## 3 適正な取調べを担保するための措置

- (2) 取調べ状況を外形的に把握することができるようにするため、全ての取調べ室に透視鏡の設置を図るとともに、取調べ室の入退室時間を電子的に管理するシステムや取調べ状況報告書等の記載内容を電子的に把握するシステム等の整備を推進する。

## 取調べ適正化指針に基づく新たな試み（モデル事業の実施）

平成21年度に取付け、平成22年度中に試験運用の実施（1県警察本部で運用）

### システムの概要

把握・  
管理  
取調べ  
状況の

ICタグ及び赤外線センサーによる捜査員及び被疑者の入退室時間を記録し取調べ時間を正確に把握することが可能  
取調べ状況報告書への反映が可能  
自動的に取調べ状況を記録することにより被疑者ごとの取調べ状況の検索が可能  
遠隔地でもリアルタイムに把握することが可能

### モデル事業の実施

事業費用として約2,847万円を平成21年度予算により確保

入札により業者を決定  
契約額約170万円

1県警察を選定し、平成22年3月に警察本部に管理サーバ、2警察署（取調べ室、19室）に検知装置を設置し平成22年4月から試験運用実施

# 入退室管理のイメージ

ICタグを身に付けて入退室  
(検知装置を通過)

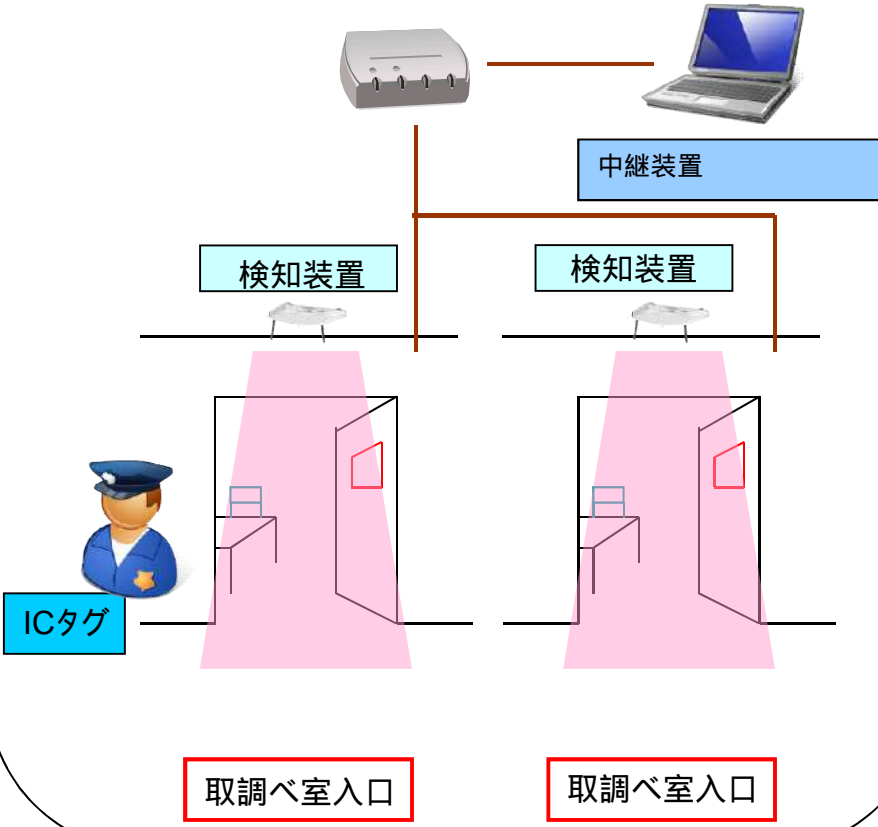
ICタグを身に付けずに入退室

入退室日時、職員氏名を記録  
(不携帯時については赤外線センサーを併用し入退室日時を記録)



警察本部において取調べ室の入退室日時、職員の確認が可能

## 入退室管理 (ICタグ & 赤外線方式)



管理サーバ

警察本部



A警察署

B警察署

# 取調べ状況報告書管理のイメージ

各警察署

管理PCにより署内で作成・登録された取調べ状況報告書の記載内容の確認が可能。権限付与により閲覧制限。

取調べ室・取調べ官単位等で検索可能

検索可能

登録一覧

報告書の内容をDBに登録

手書きの書類をイメージ登録

取調べ状況報告書の作成

取調べ実施

警察本部

管理サーバ

データ送信

管理PCにより各署で作成・登録された取調べ状況報告書の記載内容の確認が可能

登録された「手書きの書類」をイメージ登録しているので、画面上で事件主管課長等がイメージデータを見ながら入退室のログと照合することが可能。



入力端末



検索可能



登録一覧



取調べ室・取調べ官単位等で検索可能

